様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第２号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	田原福祉グローバル専門学校
設置者名	社会福祉法人　福寿園

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	田原福祉グローバル専門学校　学校評議員会
役割	学校評議員会は行政関係者、福祉関係者、地域関係者から多様な意見を徴集し、田原福祉グローバル専門学校の運営をスムーズに行うことを目的として設置する。 教育方針、学校組織、振興策等について審議し、地域及び関係機関における学校、学生及び実施事業に関する意見及び評価を、事業計画に反映する。

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
田原市長 山下　政良	委嘱の日から その年度末	行政機関
社会福祉法人 田原市社会福祉協議会会長 山田　貴三	委嘱の日から その年度末	社会福祉関係機関 非常勤講師派遣、学生実習先
社会福祉法人成春館理事長 藤城　正行	委嘱の日から その年度末	社会福祉関係機関 非常勤講師派遣、学生実習先
JA 愛知厚生連渥美病院 事務部長 鈴木　慎吾	委嘱の日から その年度末	社会福祉関係機関 非常勤講師派遣、学生実習先
たっぷく同窓会会長 山崎　亙	委嘱の日から その年度末	本校卒業生
巴江町内会会長 塩谷　泰彦	委嘱の日から その年度末	地域住民
社会福祉法人福寿園理事長 古田　周作	委嘱の日から その年度末	
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	田原福祉グローバル専門学校
設置者名	社会福祉法人　福寿園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 【授業計画書】 本校は介護福祉士養成施設であることから、社会福祉士及び介護福祉士法等関係法令に定められた教育内容及び狙い等を基準とし、校長及び専任教員で構成される教育会で授業内容について検討する。 各科目担当の教員の責任のもと、各科目の授業計画を作成し、非常勤の教員にも同様に作成を依頼する。 なお、年に一度講師会議（全教員及び全非常勤講師が参加）を行い、出された意見等については、次期授業計画書に反映している。 【授業計画書（シラバス）の作成・公表時期】 上記の過程を経て作成された授業計画書（シラバス）を３月中に取りまとめ、次年度４月のオリエンテーションの際に冊子にして学生に配布する。同時に本校ホームページにも PDF 形式にて掲載し公表するため、冊子形式を希望しない学生については、PDF 形式にて提供する。

授業計画書の公表方法	冊子で配布・学校ホームページ上にて公表 http://www.tgcw.jp/disclosure.php

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本校の履修認定は、成績要件と出席要件を全て満たしている者について行う。 また、原則、１年次に履修すべき科目全てに合格できた者で、教職員で構成される進級審査会の審議を経て認められた者が２年次に進級でき、同様に、履修すべき授業科目全ての成績要件及び出席要件を満たす者が、教職員で構成される卒業考査会の審議を経て卒業となる。 【成績要件】 履修認定にかかる成績要件は、科目ごとに授業計画書（シラバス）に記載した方法による各担当教員の評価が、A～C（合格）であることとしている。 D（不合格）の場合は、再試験の受験が認められており、再試験の評価はC（合格）もしくはD（不合格）である。 【評価の方法】 学期末ごと（通年授業については学年末）に行う筆記試験、出席状況、受講態度、レポート提出、小テストの結果等を統合して厳格に評価する。 【出席要件】 出席時間数が授業時数の３分の２（介護実習については５分の４）に満たない者は、当該科目の履修を認定しない。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

【成績評価】

成績の評価はＡからＤの４段階で行う。

Ａ（８０点以上）、Ｂ（７０点以上７９点以下）、Ｃ（６０点以上６９点以下）を合格とし、Ｄ（６０点未満）を不合格とする。

Ｄ（不合格）であった場合は、再試験を受講することができる。ただしその場合の評価は、ＣもしくはＤである。

【客観的な指標（GPA）の導入】

本校では上記成績評価の、Ａを５点、Ｂを３点、Ｃを１点、Ｄを０点とし、

（成績評価の点数×各科目の授業時数）/総授業時数

の計算により算出し、成績の分布情報とともに公表している。

なお履修する総授業時数は、進級及び卒業する全ての学生において同時数である。

客観的な指標の算出方法の公表方法	学校ホームページ上にて公表 http://www.tgcw.jp/disclosure.php

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

【卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）】

（１） 心豊かな人間性、健康、知性の調和と、責任感あるいは高い倫理観を持っている。

（２） 福祉サービスの利用者自らの主体性を尊重し、自立と自己実現を支える介護福祉の基本技術を習得している。

（３） 新しい時代の流れや社会的ニーズを的確にとらえることができる。

【ディプロマ・ポリシーの適切な実施に係る取組と公表】

本校では、卒業について教職員で構成される卒業考査会の審議を経て認定するとしている。成績要件と出席要件を満たしているかに加え、ディプロマ・ポリシーに示した観点から、審議により卒業認定を行う予定である。

また、ディプロマ・ポリシーについては、学校ホームページ等で公表しており、入学時のオリエンテーション等で、配布する冊子当に掲載している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	冊子で配布・学校ホームページ上にて公表 http://www.tgcw.jp/disclosure.php

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	田原福祉グローバル専門学校
設置者名	社会福祉法人　福寿園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	法人 HP「公開情報」 https://www.fukujuen-recruit.jp/sp/abboutu/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	法人 HP「公開情報」 https://www.fukujuen-recruit.jp/sp/abboutu/disclosure.html
財産目録	法人 HP「公開情報」 https://www.fukujuen-recruit.jp/sp/abboutu/disclosure.html
事業報告書	法人 HP「公開情報」 https://www.fukujuen-recruit.jp/sp/abboutu/disclosure.html
監事による監査報告（書）	法人 HP「公開情報」 https://www.fukujuen-recruit.jp/sp/abboutu/disclosure.html

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育・社会福祉	専門課程	介護福祉学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	116 ／単位	単位時間 94/単位	単位時間 11/単位	単位時間 11/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	62 人	36 人	3 人	26 人	29 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）修業年限を２年とし、年度を前期と後期に分け、授業を配置している。 授業は講義、演習、実習から構成されており、これらの手法を組み合わせて、「人間と社会」「こころとからだのしくみ」「介護」「医療的ケア」「福祉文化活動」の５つの分野を学習する。
成績評価の基準・方法
（概要）学期末ごと（通年授業については学年末）に行う筆記試験、出席状況、受講態度、レポート提出、小テストの結果等を統合して厳格に評価する。 Ａ（８０点以上）、Ｂ（７０点以上７９点以下）、Ｃ（６０点以上６９点以下）を合格とし、Ｄ（６０点未満）を不合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）成績要件と出席要件を全て満たしている者について、進級考査会及び卒業考査会の審議を経て行う。 成績要件はＡ～Ｃであることとし、出席要件は出席時間数が授業時数の３分の２（介護実習については５分の４）以上としている。

学修支援等
（概要）成績不振や楽手意欲の低下している学生に対し、教員による個別面談や個別指導を実施し、充実した学習環境となるようサポートしている。また、空き時間に試験対策を実施し、学力や知識の向上を図っている。さらに、近隣の社会福祉法人等と交渉し、奨学金制度の創設、拡充を促し、学生への経済支援に努めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 （100%）	0 人 （0%）	31 人 （100%）	0 人 （0%）
（主な就職、業界等） 福祉施設（特別養護老人ホーム、障害者支援施設、介護老人保健施設）			
就職指導内容） 就職活動の方法に関するレク、履歴書の添削指導、市内団体による就職プレゼン会の開催等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士国家試験の受験資格、レクリエーション・インストラクター等			
（備考）（任意記載事項） ※本校には日本語学科が設置されているが、支援対象外の外国人留学生しか在籍していないことから上記卒業生等には含まれていない。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的な個別面談の開催、随時学生からの相談対応		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
介護福祉学科	150,000 円	480,000 円	120,000 円	施設利用料：120,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				
福寿園特待生：授業料、施設利用料及び実習費（約 133 万円）を法人が負担 SS 特待生：授業料 48 万円免除、S 特待生、AO 特待生：授業料 10 万円免除 親子きょうだい割引：授業料 12 万円免除				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.tgcw.jp/disclosure.php		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学生アンケートの実施、職員による自己採点評価を作成し、学校評議員会において委員からの意見聴取を行う。 評価項目は、(1)教育理念・目標、(2)学校運営、(3)教育活動、(4)学修成果、(6)教育環境、(7)学生の受入れ募集、(8)財務、(9)法令等の遵守、(10)社会貢献・地域貢献、(11)国際交流の 11 分野とし、全 61 項目を評価する。 委員は、行政機関、社会福祉関係機関、本校卒業生、地域住民の計７名で構成するが、必要に応じて他の者を評議員として委嘱することを妨げない。 評価結果は、事務長を責任者として年度末に作成する次年度事業計画に反映し、学校運営の改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
田原市長 山下　政良	委嘱の日から その年度末	行政機関
社会福祉法人 田原市社会福祉協議会会長 山田　貴三	委嘱の日から その年度末	社会福祉関係機関 非常勤講師派遣、学生実習先
社会福祉法人成春館理事長 藤城　正行	委嘱の日から その年度末	社会福祉関係機関 非常勤講師派遣、学生実習先
JA 愛知厚生連渥美病院 事務部長 鈴木　慎吾	委嘱の日から その年度末	社会福祉関係機関 非常勤講師派遣、学生実習先
たっぷく同窓会会長 山崎　亙	委嘱の日から その年度末	本校卒業生

巴江町内会会長 塩谷　泰彦	委嘱の日から その年度末	地域住民
社会福祉法人福寿園理事長 古田　周作		
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.tgcw.jp/disclosure.php（令和７年度中に公表する）		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.tgcw.jp